



第13回 荒川流域再生シンポジウム

建材として下流の都市に送られる源流の木。コウノトリやトキが舞う冬水湛水の水田。有機栽培のために活用される雑木林。東京湾から溯上したアユが上流域まで自由に上れる荒川と入間川。50年後に再生させる荒川流域の環境のデザインとロードマップづくりを始めよう

50年後の荒川流域

その再生に向けて



- テーマ①「源流の森林を生かす流域市民の課題」
- テーマ②「平地林を保全し、冬水田圃を復活する」
- テーマ③「東京湾から上るアユの溯上環境を創る」

この事業は(社)関東建設弘済会の助成を受けています

■主催 NPO 法人 荒川流域ネットワーク

日時

2010年
2月11日(木・祝日)

9:40 開場
10:00 開始
16:30 終了

会場

国立女性教育会館(嵐山町)
参加費 / 無料



入間川での調査で採捕したアブラビレが切除された標識アユ





荒川流域ネットワークは、荒川流域の諸団体と共同で進めてきた「あらかわ流域水環境シンポジウム」を引き継ぎ、荒川流域の自然環境の再生と流域の関係諸団体の理解と連携を深めるため、2008年から「荒川流域再生シンポジウム」と名称を変えて開催し、そこでみずかけ“サ”論という形でオープンな議論を重ねて来ました。

今年度、2回目のシンポジウムを開催することになり、荒川流域再生プロジェクトが進めてきた「菅間堰アユ溯上作戦」の結果を報告するとともに、荒川流域が抱えている山・川・水田・平地林・都市の環境的な課題の解決に向けて立場を超えて議論を重ねていきたいと考えております。荒川流域で活動されている多くの団体・個人の方および関係する機関の方のご参加をお願いいたします。



■主催
特定非営利活動法人 荒川流域ネットワーク

■共催団体
NPO 法人荒川クリーンエイド・フォーラム／NPO 法人秩父の環境を考える会／NPO 法人熊谷の環境を考える連絡協議会／NPO 法人さやま環境市民ネットワーク／NPO 法人荒川の自然を守る会／鴻巣の環境を考える会／鶴ヶ島の自然を守る会／新河岸川水系水環境連絡会／埼玉県河川環境団体連絡協議会／NPO 法人ふるさと東京を考える実行委員会／比企の川づくり協議会

■みずかけ“サ”論タイムスケジュール

午前の部

- 9:40 受付開始(研修室 101 号)
- 10:00 主催挨拶・来賓挨拶
- 10:15 テーマ①「源流の森林を生かす流域市民の課題」
問題提起 大野輝尚氏(秩父市環境農林部管理幹)
「源流の森林を生かすための技術、マーケットの創造、植生のデザインについて」
- 10:40 テーマ① みずかけ“サ”論
- 11:45 昼食

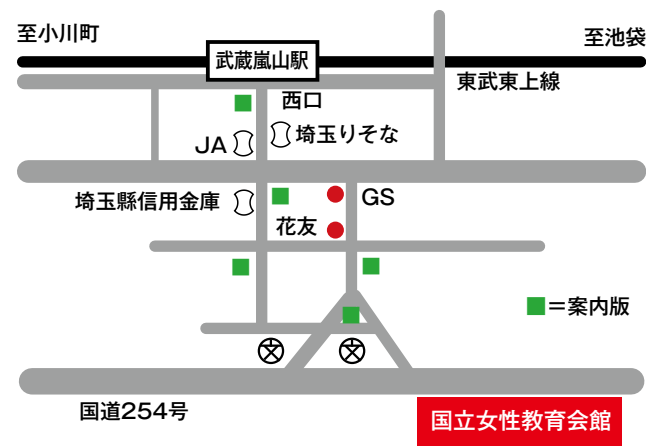


午後の部

- 12:30 テーマ②「平地林を保全し、冬水田圃を復活する」
問題提起 小川泰男氏(さやま環境ネットワーク緑の分科会リーダー)
「都市に隣接する平地林の活用法と税制システム改正への提言」
問題提起 川島秀男氏(鴻巣の環境を考える会会長・荒川流域ネットワーク理事)
「荒川流域にコウノトリを復活させるためのロードマップづくり」
- 13:15 テーマ② みずかけ“サ”論
- 14:00 休憩
- 14:15 テーマ③「東京湾から上るアユの溯上環境を創る」
問題提起 金澤光氏(埼玉県環境科学国際センター自然環境担当部長)
「2009年度の入間川・越辺川での標識アユ溯上調査結果から」
問題提起 村岡敬子氏(独立行政法人 土木研究所水環境研究グループ河川生態チーム主任研究員)
「近年の魚道及び簡易魚道についての情報及び基礎知識」
- 15:15 テーマ③ みずかけ“サ”論
- 16:30 終了

※ 10日 19:00 から国立女性教育会館で流域団体の交流会を開催致します。宿泊を希望される方は事前にご連絡下さい。宿泊費は食費別で2800円です。
※ 昼食は会館の食堂でとることが可能ですが、混み合って時間が掛かる可能性がありますので、できるだけ各自ご持参下さい。

■武蔵嵐山駅からの道順



東武東上線武蔵嵐山駅から徒歩15分
●武蔵嵐山駅へは池袋駅から東武東上線下り急行に乗車60分
●小川町駅から東武東上線上り7分
※東京メトロ有楽町線・副都心線と光市駅から東武東上線に乗換ができます。

■問い合わせ TEL 049-285-6625 携帯 090-7804-5722
mail k_suzuki@pk2.so-net.ne.jp
鈴木勝行